

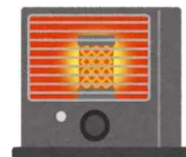


石油ストーブ等の事故に気をつけて



寒い季節には欠かせない石油ストーブや石油ファンヒーターですが、使い方を誤ると大きな事故につながってしまうこともあります。

ストーブ等を使用する前に確認を！



◆ ほこりがたまっていないですか？

空気取入口や置台にほこりがたまっていると、**異常燃焼**を起こしたり炎がほこりに**引火**するなどして、**火災の原因**になります。

◆ 対震自動消火装置は正しく作動しますか？

石油ストーブは、芯の動きが悪くなると装置が作動しても芯が下がりきらずに**消火不良**となるおそれがあります。



◆ 石油ストーブの燃焼筒は正しく取り付けられていますか？

燃焼筒がずれていると**異常燃焼**が発生し、炎が高く上がって**火災の原因**になります。

◆ カートリッジタンクの給油口蓋は確実に閉まりますか？

給油口蓋がしっかり閉まらなないと、灯油が漏れ出して**火災**につながります。

※ 給油は、必ず先に消火して行い、給油後は、必ず給油口蓋がしっかり閉まっていることを確認して本体にセットしてください。



◆ 使用する灯油は新しいものですか？

古い灯油を使用すると、**異常燃焼**や**一酸化炭素の排出**を引き起こす恐れがあります。タンクや機器本体に昨シーズンの灯油が残っているときは、抜き出してください。

※ 古い灯油の処分方法は、灯油を購入した販売店に相談してください。

◆ ガソリン等の誤給油をしていませんか？

ガソリンや混合燃料が混入すると火災につながるおそれがあり、大変危険です。少量であっても誤って給油したときは、直ちに使用を中止してください。

確認を！



◆ 周囲の壁や可燃物との十分な距離が確保できていますか？

壁や周囲の家具などから、取扱説明書で指定された距離をとりましょう。また、衣類やカーテン、布団などの燃えやすいものは、放射熱による過熱や高温部への接触によって**火災**になるおそれがあるので、十分に距離を取ってください。

※ 放射熱…高温の物体が発する赤外放射などによって離れたところに伝わる熱

契約トラブルなど「こんなのアリ？」と思ったら消費生活センターにご相談ください。

【相談専用電話】 宮崎県消費生活センター 0985-25-0999
都 城 支 所 0986-24-0999
延 岡 支 所 0982-31-0999

【消費者ホットライン】  188 (お近くの相談窓口(市町村または県消費生活センター)にナビダイヤルでつながります。)

